

関東ふれあいの道 埼玉県①「水源のみち」 (小滝が連続する白谷沢に行く)

(報告) SM

◎期日：2025年7月5日

◎メンバー：TI(L)、IK、KT、SM

5月と6月、二度の計画も悪天候の為に延期となり、やっと実施出来ることになりました。棒ノ嶺には奥多摩側からは何度か登っているが、今回の奥武蔵側の「白谷沢」から登るのは初めてと云う事で気合も入り予定時刻より一本速い電車で行くが、集合場所の飯能バス停は早くも長蛇の列になっていて登山者の多さにビックリする。

予定時刻のバスに何とか座れ、40分程で名栗さわらびの湯で乗客の殆どが下車する。

有馬ダム(名栗湖)の堰堤を渡り白谷沢登山口へ。「関東ふれあいの道、棒ノ嶺3.3k」の道標を見て山道に入る。

快晴の中、溢れんばかりの緑の樹林帯が夏の日射しを遮って気持ち良い。今日は日曜日のせいか若い人達が賑やかに元気に連なって登って行く。

一汗かく頃、沢音が近くなり両側から岩壁も迫り、ちょっと大げさに云えばいよいよ渡渉とゴルジュに入って行く。ルートファインディングは先に行く人が多く全然必要が無い。息も切れ大分疲れも出てきたが、久し振りの沢登りに楽しさが甦ってくる。藤懸ノ滝、天狗ノ滝、白孔雀ノ滝でクサリ、ロープを使い急登を登ると沢、滝の渡渉は終了する。

後は登山道を岩茸石そしてゴンジリ峠、棒ノ嶺山頂へと一歩一歩進むが中々辛い。やっと棒ノ嶺山頂につながる木道にホットする。



白孔雀ノ滝



白谷沢ゴルジュ

広い山頂はかすみの様な雲に覆われてしまい展望は望めず残念です。下山は登って来た道に戻り、登山道一杯に立ちふさがる岩茸石の奇岩の左側をすり抜けて滝ノ平尾根を下ります。この下山道も初めてのルートですが、木の根が縦横無尽、網の目の様に浮き出て足を引っかけたら大変、慎重に慎重にと自分に言い聞かせます。すると「転倒多発、足元注意」の立て看板有り。やっぱり～！！

山頂から下る事 2 時間半。木の根以外は危険箇所もなく、登り下り変化に富んで気持ちの良い楽しいルートでした。大勢の登山者が訪れる人気の山に納得です。



《コースタイム》

さわらびの湯 9：30～有馬ダム 9：40～白谷沢登山口 9：55～岩茸石 11：35～棒ノ嶺山頂
12：25～13：10～ゴンジリ峠 13：20 岩茸石 13：50～滝ノ平登山口 15：30～さわらびの湯
15：40

以上